



図書館ニュース

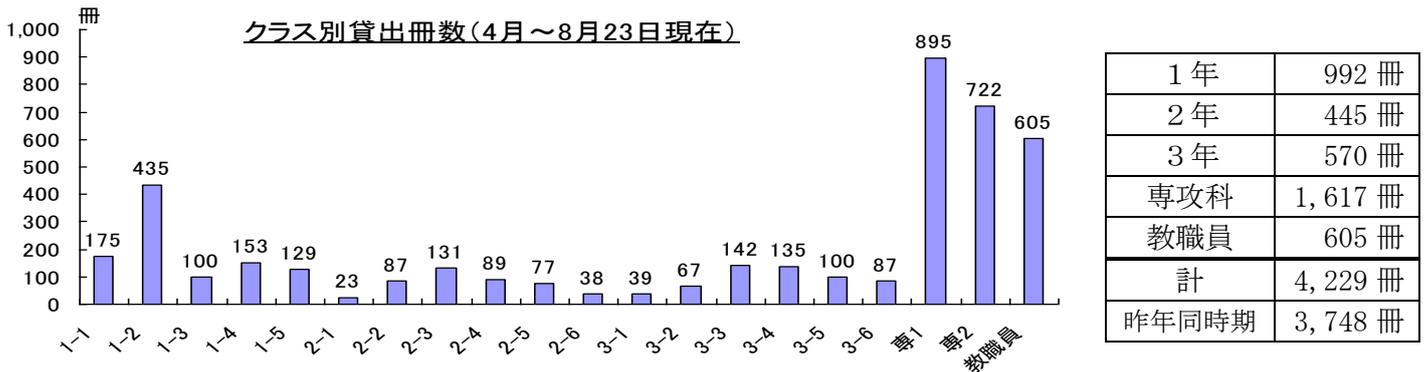
倉吉東高校図書館

2011年8月

No. 4

夏休みに図書館関係の研修会があり、多くの方から倉吉東高の読書活動についてお褒めの言葉をいただきました。難しくても質の高い本を読み、読んだこと学んだことを表現する活動（本校の読書小論文活動や国際高校生フォーラム等）の取組み、そしてその成果を評価していただいたようです。楽しみながら（あるいはしんどくても）読書の力を信じて、さあ1冊手に取ってみましょう。

◆中間集計

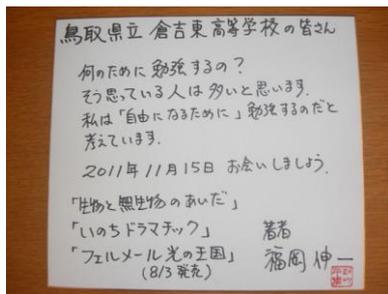


1年生が1学級減ながら、全体の貸出冊数は昨年同時期よりも増です。特に専攻科生は「学び祭」のために県立図書館の相互貸借を利用するなど、意欲的に何冊もの専門書に取り組み、本の読み方や図書館利用の仕方を身につけました。1～3年生もいつでも相談にのりますので声をかけてください。

今年度は特に返却期限を守れない人が目立ち、何度も督促状を出さなければいけないのが残念です。

◆福岡伸一先生からメッセージをいただきました

11月の「著者講演会」に向けて、図書館では福岡伸一先生の著書・訳書・関連記事を展示しています。それをHP等でご覧になった先生から、倉東高生にメッセージの色紙が届きました。



分子生物学者というだけでなく画家・フェルメールの作品をこよなく愛し、芸術にも詳しい福岡先生。新刊『フェルメール光の王国』（木楽舎）も出ました。すでに読まれた先生方から「とても面白かった」という感想が続々寄せられています。

NHK「いのちドラマチック」を書籍化した第1集『いのちドラマチック ヒトがつくりかえた生命の不思議』（木楽舎）も新刊です。

◆第2回図書館ゼミは『源氏物語』

大学入試出題率ナンバーワンといわれる『源氏物語』ですが、授業で学習するのはほんの一部。全体像を知ってこそ見えてくるものがあるはず。千年にわたって読みつがれてきた『源氏物語』の魅力を、元高校国語教師でもある中永先生に楽しくわかりやすく語っていただきます。

日時：平成23年9月20日（火） 午後4時～
 場所：大会議室
 テーマ：『源氏物語』はなぜおもしろいのか
 講師：中永廣樹 氏（前鳥取県教育長）



『源氏物語』の世界展示中